

## 運転装置

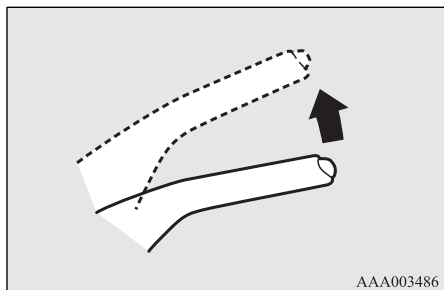
パーキングブレーキ	7- 2
ルームミラー	7- 3
ドアミラー	7- 3
サイドアンダーミラー	7- 6
エンジンスイッチ	7- 7
エンジンのかけ方	7- 8
ターボ車の取り扱い	7-10
マニュアルトランスミッション	7-11
オートマチックトランスミッション	7-12
オートマチック車の運転のしかた	7-15
パートタイム4WD	7-19
4WD車の上手な運転	7-21
オフロードを走行した後は	7-23
4WD車取り扱い上の注意	7-24
アンチロックブレーキシステム(ABS)	7-26

## パーキングブレーキ

J00700101030

### かけるときは

ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押さずにパーキングブレーキレバーをいっぱいまで引きます。



AAA003486

7

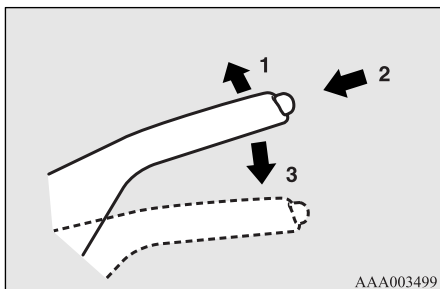
### ⚠ 注意

- 坂道に駐車するときはパーキングブレーキを確実にかけ、マニュアル車はシフトレバーを①またはR、オートマチック車はセレクトレバーをPに入れてください。
- パーキングブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み、完全に車を止めてからパーキングブレーキレバーを引いてください。  
車が動いているうちにパーキングブレーキレバーを引くと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。  
また、パーキングブレーキの故障の原因になります。

### 解除するときは

1. ブレーキペダルを踏んだまま、レバーを少し引き上げ
2. ボタンを押したまま
3. 完全に戻します。

解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。



AAA003499

### ⚠ 注意

- パーキングブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

## ルームミラー

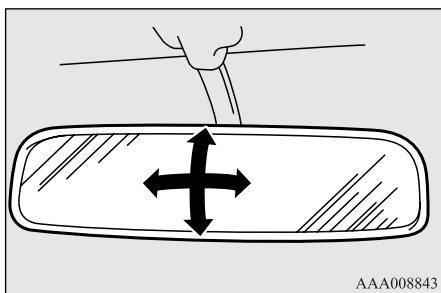
J0070030077

### ⚠ 注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ミラーの角度調整

ミラーの本体を上下左右に動かして角度を調整します。



## ドアミラー

J0070050079

### ミラーの角度調整

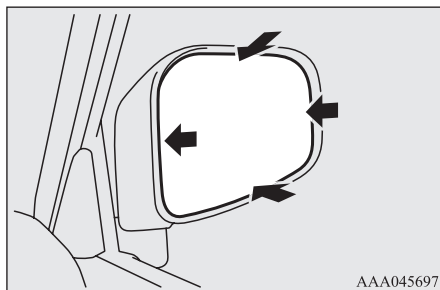
J0071820059

### ⚠ 注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。凸面鏡は平面鏡に比べ、物が遠くに見え、実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

### ◆ 除く、電動リモコンドアミラー付き車

ミラーの部分を押しして角度を調整します。



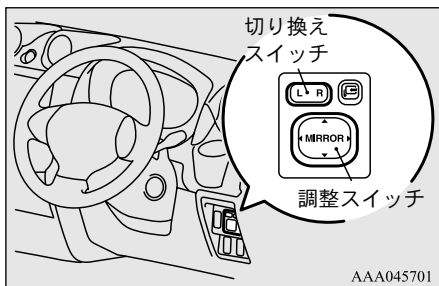
### ◆ 電動リモコンドアミラー付き車

エンジンスイッチがONまたはACCのときに操作できます。

1. 切り換えスイッチの調整したい側を押します。  
L：左側ミラーの調整  
R：右側ミラーの調整
2. 調整スイッチを押して角度を調整します。

#### 📖 アドバイス

- 調整が終わったら切り換えスイッチの反対側を軽く押して中立位置に戻してください。



### ドアミラーの格納・復帰

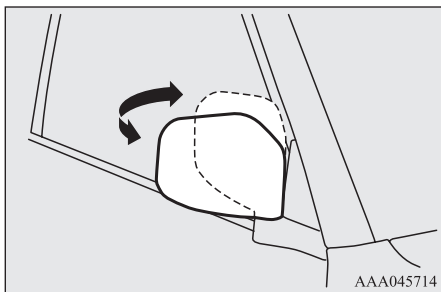
J0071830063

#### ⚠️ 注意

- ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

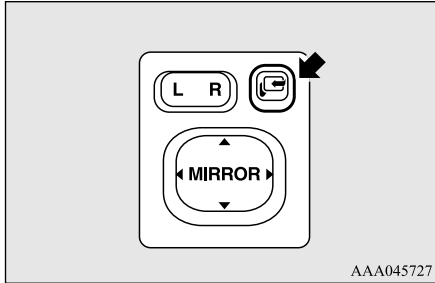
### ◆ 除く、電動リモコンドアミラー付き車

手でミラーを車両後方に倒して格納します。  
戻すときはカチッと音がするまで車両前方へ起こします。



## ◆ 電動リモコンドアミラー付き車

エンジンスイッチが ON または ACC のとき、格納スイッチを押すとミラーが格納されます。もう一度押すと元の位置に戻ります。



### ⚠ 注意

- ミラーは手で倒すことも戻すこともできますが、格納スイッチの操作で倒したミラーは手で戻さず、再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。  
格納スイッチで倒したミラーを手で戻すとミラーの固定が不完全になり、走行中の振動および風の影響などでミラーが動き、後方の確認ができなくなります。

### 📖 アドバイス

- ミラーが動いているときは手などを挟まないように注意してください。
- 手でミラーを動かしたり、人や物に当たってミラーが動いたあとは、格納スイッチでミラーを元の位置に戻せないことがあります。  
このようなときは、一度格納スイッチを押してミラーを格納状態にしたあと、再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
- 凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

## ヒーター付ドアミラー

タイプ別装備

J00706800292

エンジンスイッチが ON のときにリヤウインドウデフォッガースイッチを押すと、ドアミラー内部のヒーターが作動し、ミラーの曇りを取ることができます。もう一度押すとヒーターは切れます。  
→「リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ」P. 6-17

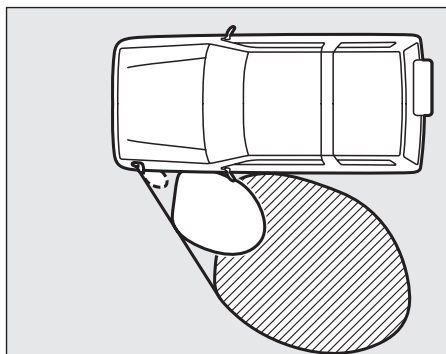
### 📖 アドバイス

- エンジン停止時に使用しないでください。バッテリーが上がリ、エンジンがかからなくなることがあります。
- この装置は消費電力が大きいため曇りが取れたらスイッチを切ってください。長時間使うとバッテリー電圧が低下し、エンジンがかかりにくくなる場合があります。
- エンジンスイッチを切っても、リヤウインドウデフォッガースイッチの状態を記憶しています。  
ヒーター付ドアミラーが作動したままエンジンスイッチを切り、再度エンジンスイッチを ON にするとヒーター付ドアミラーが作動を始めます。

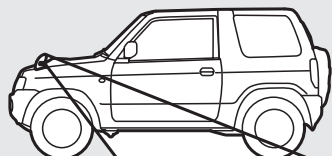
## サイドアンダーミラー

J00700600139

発進時またはごく低速時に助手席側の車両側面を確認するときに使用します。






ミラーに映るおよその範囲



ミラーに映るおよその範囲

AAE002461

-  : 地面から約1mの高さ
-  : 地面から約60cmの高さ
-  : 地面の高さ

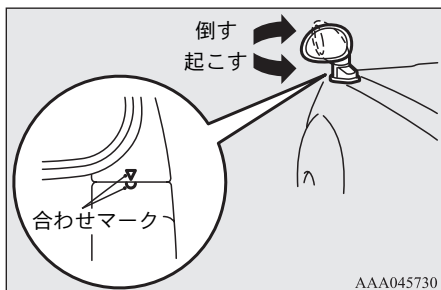
### ⚠ 注意

- 後方の確認はルームミラー、ドアミラーで行ってください。
- 車の直前、後方および左斜め前方は運転席からでは十分に確認しにくい箇所です。駐車場などで前進または後退を行うときはミラーだけにたよらず、一度車から降りて周りの状況をよく確認して車を動かしてください。
- 信号待ちなどでいったん停止したときでも周りの状況に注意し、安全を十分に確認してから発進してください。

## サイドアンダーミラーの倒し方、起こし方

サイドアンダーミラーを手で車両前方に倒すことができます。

起こすときは、サイドアンダーミラー上部と下部の合わせマークが合う位置まで戻します。



AAA045730

### ⚠ 注意

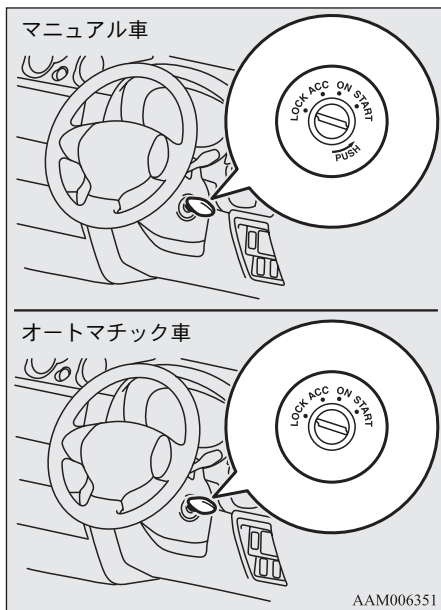
- サイドアンダーミラーを倒したままで運転しないでください。

### 📖 アドバイス

- サイドアンダーミラーの鏡面は固定式です。鏡面を動かしてミラーの調整はできません。

## エンジンスイッチ

J00700800795



## 各位置の働き

**LOCK**  
(ロック)

ハンドルがロックされる位置  
キーを抜き差しできません

**ACC**  
(アクセサリー)

エンジンを止めたままでも電源ソケットなどが使用できる位置

**ON**  
(オン)

エンジン回転中の位置  
すべての電気系統が働きます

**START**  
(スタート)

エンジンを始動する位置  
エンジンがかかったらキーから手を離してください。自動的にONの位置へ戻ります

7

## アドバイス

- エンジン停止時はエンジンスイッチをLOCKにしてください。エンジンスイッチをONまたはACCのまま電源ソケットなどの電気製品を長時間使用すると、バッテリー上がりを起こし、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンが回転しているときは、キーをSTARTの位置に回さないでください。スターターモーターが破損することがあります。
- キーがLOCKからACCに回らないときはハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回してください。

## キーを抜くときは

J00706200443

LOCKまで回して抜きます。

オートマチック車はセレクトレバーが **P** でないとキーを抜くことはできません。

マニュアル車はACCの位置でキーを押しながらLOCKまで回して抜いてください。

## エンジンのかけ方

J00700901184

### 警告

- 車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して、ガス中毒になるおそれがあります。
- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのおおいが消えない場合は排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ず日産販売会社で点検を受けてください。

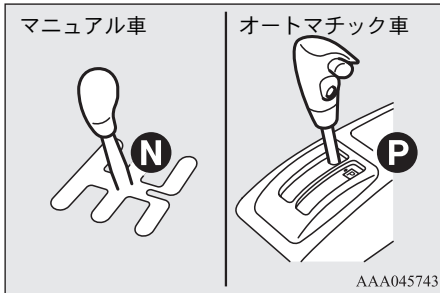
### 注意

- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯したときは、高速走行を避けてできるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。  
→「エンジン警告灯」P. 6-9

### アドバイス

- バッテリー上がりやスターターモーターの故障を防ぐため、STARTにして10秒以上スターターモーターを回さないでください。10秒以上たってもエンジンがかからなかったときは、一旦キーをLOCKに戻し、2～3秒待ってから再度エンジンをかけてください。エンジンやスターターモーターが止まらないうちに始動の操作をくり返すと関連部品の故障の原因となります。
- エンジンが冷えているときや、再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり、高速運転は避けてください。
- バッテリー交換後は、エンジンなど電子制御システムの学習内容が消去されるため、エンジン回転数が不安定になる場合があります。エンジン回転数が不安定になったときは、エンジンの初期調整操作を行ってください。  
→「バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは！」P. 13-27

- 正しい運転姿勢をとります。  
ブレーキペダルが確実に踏め、ハンドル操作が楽にできるように、シート位置を調整します。  
→「フロントシート」P. 5-3
- パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- マニュアル車はシフトレバーを**N**に入れてクラッチペダルをいっぱいまで踏み込みます。オートマチック車はセレクトレバーが**P**にあることを確認します。



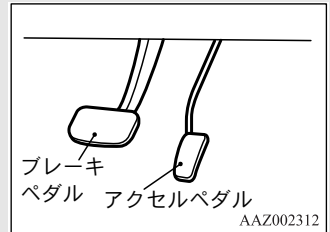
### 📖 アドバイス

- オートマチック車はセレクトレバーが**P**または**N**以外ではエンジンがかかりません。  
安全のため車輪が固定できる**P**でエンジンをかけてください。
- マニュアル車はクラッチ・スタートシステムが装着されています。  
  
クラッチ・スタートシステムとは...  
誤操作を防ぐため、クラッチペダルをいっばいに踏み込まないとエンジンがかからない装置です。

4. ブレーキペダルを右足で踏みます。

### ⚠️ 警告

- オートマチック車はアクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため、各ペダルの位置を右足で確認してください。  
アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり、両方のペダルを同時に踏んでしまうと、車が急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。



5. 外気温により、つぎの方法でエンジンをかけます。

**通常時**

アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチをSTARTに回してエンジンをかけます。

**厳寒時**

1. アクセルペダルを半分程度踏み込んだままエンジンスイッチをSTARTに回してエンジンをかけます。
2. エンジンがかかったらアクセルペダルを徐々に戻してください。

**注意**

- 厳寒時などアクセルペダルを踏まないでエンジンがかかりにくい場合でも、エンジンがかかった後はブレーキペダルを踏んでください。

**アドバイス**

- エンジンがかからないときはつぎの手順に従ってください。
  - アクセルペダルを踏み込んだままエンジンをかけてください。
  - エンジンがかかったらアクセルペダルを徐々に戻してください。

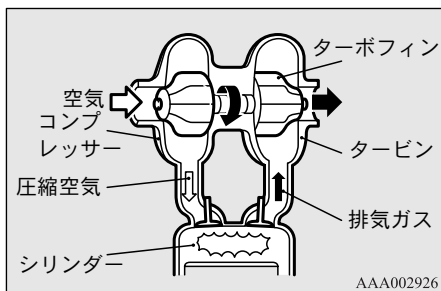
**ターボ車の取り扱い**

J00701200161

**注意**

- エンジンをかけた直後は、空ぶかしや急加速などでエンジンを高回転させないでください。
- 高速走行または登坂走行をした後は、低速走行やアイドリング運転でターボが冷えるのを待ってからエンジンを止めてください。

**ターボとは...**



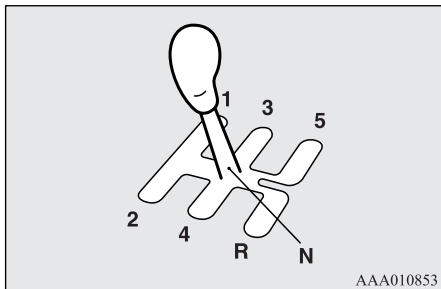
正式にはターボチャージャーといい、シリンダー内へ大量の空気を過給してより大きなパワーを引きだします。ターボファンは超高速で回転し、高温下で使われ、潤滑はエンジンオイル、冷却はエンジンオイルと冷却水で行っています。エンジンオイルは定められた時期に交換しないとターボ軸受部の固着、異音の発生などの原因となります。

# マニュアルトランスミッション

J00701300205

## シフトレバー

シフトレバーは必ずクラッチペダルをいっぱい踏み込んでから操作してください。



### ⚠ 注意

- **R**に入れるときは車を完全に停止させてから行ってください。
- **R**に入るとブザーが鳴り、**R**にあることを運転者に知らせます。ブザーは車外の人には聞こえませんがご注意ください。

### 📖 アドバイス

- クラッチペダルに常に足をのせ、フットレストがわりにすることは避けてください。クラッチの早期摩耗、損傷の原因となります。
- ギヤが入りにくいときはクラッチペダルを踏み直すと楽に入ります。
- **5**→**R**へは直接入れることはできません。一度**N**にしてから**R**へ入れてください。

## 変速位置とスピード範囲

J00706900323

エンジンを過回転させないため、各シフト位置での速度が下の表の数値を超えないようにしてください。

### 📖 アドバイス

- 法定速度を守って走行してください。
- 各シフト位置の最低速度はノッキングが発生しない速度で使用してください。

項目	1速	2速	3速	4速
2H, 4H	25 km/h	45 km/h	75 km/h	120 km/h
4L	15 km/h	30 km/h	45 km/h	70 km/h

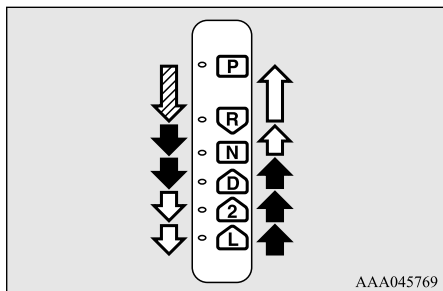
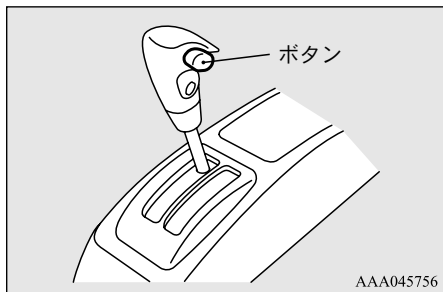
# オートマチックトランスミッション

J00701900070

「安全なドライブのために：オートマチック車の取り扱い」も合わせてお読みください。→P. 2-14

## セレクタレバーの動かし方

J00702000469



- ⚠ ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押して操作します。
- ↓ ボタンを押さずに操作します。
- ⚠ ボタンを押したまま操作します。

## ⚠警告

- ⚠の操作は必ずボタンを押さずに行ってください。いつもボタンを押したまま操作すると誤って**P**、**R**、**2**、**L**に入れてしまい、思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあります。
- セレクタレバーを**N**→**D**または**N**→**R**に操作するときは、安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションの故障の原因になります。

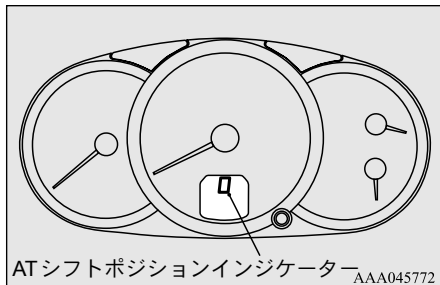
## 📖アドバイス

- ブレーキペダルを踏んでいないと、シフトロック装置が働いて**P**から他の位置に操作できません。また、キーがLOCK位置のときはブレーキペダルを踏んでも**P**から他の位置に操作できません。
- ⚠の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると、セレクタレバーが動かなくなることがあります。
- **D**から**R**、**R**から**D**および**P**に入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み、完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちに**P**や**R**に入れるとトランスミッションの故障の原因になります。

## AT シフトポジションインジケータ

J00702100095

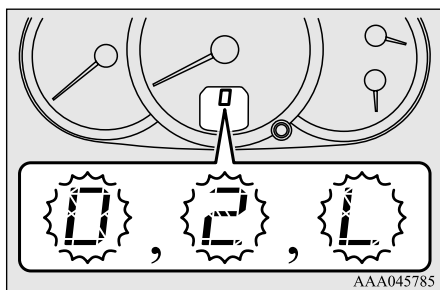
セレクトレバーの位置をメーター内に表示します。



## 走行中に AT シフトポジションインジケータが点滅したときは

J00712700094

走行中に AT シフトポジションインジケータが点滅したときはトランスミッションに何らかの異常が発生し、安全装置が働いていると考えられます。できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。



## 📖 アドバイス

- セレクトレバー位置が **P**、**R**、**N** のとき、AT シフトポジションインジケータは点滅しません。

## セレクトレバーの位置・働き

**P** (パーキング)  
駐車およびエンジンをかけるとき

車輪が固定されます。駐車の際は必ずパーキングブレーキをかけて**P**に入れてください。  
**P**でのみエンジンスイッチからキーが抜けます。

**R** (リバース)  
後退させるとき

**R**に入るとブザーが鳴り、**R**にあることを運転者に知らせます。

### ⚠ 注意

- ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

7

**N** (ニュートラル)  
中立

動力が伝達されません。  
この位置でもエンジンをかけることができますが安全のため**P**で行ってください。

**D** (ドライブ)  
通常走行

発進から高速走行まで自動的に変速されません。  
(1速から3速まで自動的に変速されます。オーバードライブスイッチをONにすると1速から4速まで自動的に変速されます。)

**2** (セカンド)  
下り坂走行

エンジンブレーキが必要なときに使います。  
(1速から2速まで自動的に変速されます。)

**L** (ロー)  
急な下り坂走行

強力なエンジンブレーキが必要なときに使います。  
(1速のままで変速されません。)

### ⚠ 警告

- ぬれた道路や凍結した道路では急激なエンジンブレーキは避けてください。スリップして重大な事故につながるおそれがあります。

### 📖 アドバイス

- エンジンの過回転を防止するためオートマチックトランスミッションの制御が働き、セレクトレバーを**2**、**L**へ入れても変速しない場合があります。

## オーバードライブスイッチ

J0070270062

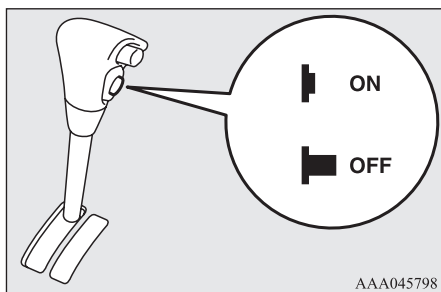
セレクトレバーが**D**のとき働きます。

### ◆ 通常走行

オーバードライブスイッチを押して ON にします。1速から4速まで自動変速し、燃費の良い経済的な走行ができます。

### ◆ 坂道走行

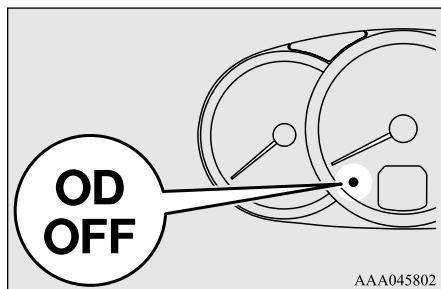
オーバードライブスイッチを押して OFF にします。1速から3速まで自動変速し、下り坂では軽いエンジブレーキが得られます。



### ◆ オーバードライブOFF表示灯

J00713200025

オーバードライブスイッチをOFFにするとメーター内の表示灯が点灯します。



## オートマチック車の運転のしかた

J00702901029

### 発進

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

### ⚠ 警告

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



### ⚠ 注意

- セレクトレバーを**P**、**N**以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリーブ現象により、ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。特にエアコン作動中などエンジン回転数が高くなるとクリーブ現象が強くなりますので、よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。  
→「クリーブ現象」P. 2-14

2. セレクトレバーを前進は **D**、後退は **R** に入れます。

### 警告

- セレクトレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションの故障の原因になります。

3. セレクトレバーの位置を確認します。



4. 周囲の安全を確認し、パーキングブレーキを解除します。
5. ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

### ◆ 急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないようパーキングブレーキをかけたまま、ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら、車が動き出す感触を確認し、パーキングブレーキを解除して発進します。

## 走行

### 警告

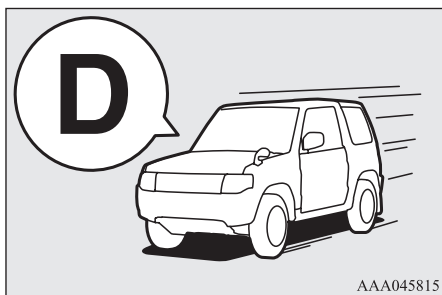
- 走行中はセレクトレバーを **N** に入れないでください。エンジンブレーキがまったく効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、誤って **D**、**R** に入れてしまった場合、トランスミッションの故障の原因になります。

### 注意

- セレクトレバーは走行状況に合った正しい位置で使用してください。坂道などで、前進の位置 (**D**、**2** または **L**) にしたまま惰性で後退したり、後退の位置 **R** にしたまま惰性で前進しないでください。エンストしてブレーキの効きが非常に悪くなったり、ハンドルが非常に重くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

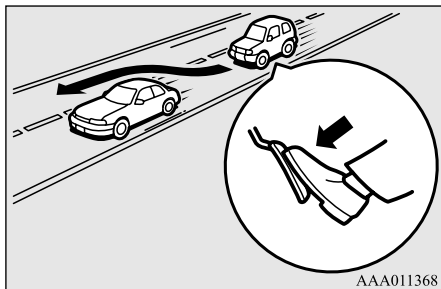
### ◆ 通常走行

セレクトレバーを **D** で走行します。発進するとスピードに応じて自動的に変速されます。



### ◆ 急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。自動的に変速比が切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。



### ◆ 上り坂走行

上り坂でスピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、キックダウンしてエンジン回転が上がることがあります。このようなときは、あらかじめ②にしておくと、変速回数が少なくなり、なめらかな走行ができます。

### ◆ 下り坂走行

セレクトレバーを②に入れてエンジンブレーキを使います。

長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると、ベーパーロックやフェード現象を起こし、ブレーキの効きが悪くなることもあり危険です。必ずエンジンブレーキを併用してください。

→「ベーパーロック」P. 2-11

→「フェード現象」P. 2-11

### 📖 アドバイス

- オーバードライブスイッチをOFFにすることで軽いエンジンブレーキが得られます。高速道路の長い下り坂などに有効です。  
→「オーバードライブスイッチ」P. 7-15

### ◆ 特に急な下り坂走行

強力なエンジンブレーキが必要なときはLに入れます。

### ⚠ 警告

- 急激なエンジンブレーキをかけるとタイヤがスリップして重大な事故につながるおそれがあります。

### ⚠ 警告

- 急激なエンジンブレーキをかけるとタイヤがスリップして重大な事故につながるおそれがあります。

## 停車

1. セレクトレバーは**D**のままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

### ⚠ 注意

- エアコン作動時などは、自動的にエンジン回転数が高くなり、クリーブ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

2. 必要に応じてパーキングブレーキをかけます。

### ⚠ 注意

- 急な上り坂ではクリーブ現象が働いても、車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み、しっかりとパーキングブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。トランスミッションの故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセレクトレバーを**N**に入れます。

### ⚠ 注意

- 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一、セレクトレバーが**P**、**N**以外に入っていると認め急発進の原因になります。

4. 再発進するときは、セレクトレバーが**D**位置にあることを確認してから発進してください。

## 駐車

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを確実にかけます。
3. セレクトレバーを**P**に入れます。

### ⚠ 注意

- **P**では車輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセレクトレバーが**P**に入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちに**P**に入れると、急停止してけがをするおそれがあります。また、トランスミッションの故障の原因になります。

### 📖 アドバイス

- 坂道では、パーキングブレーキをかける前にセレクトレバーを**P**に入れると、発進時のセレクトレバー操作が重くなることがあります。

4. エンジンを止めます。

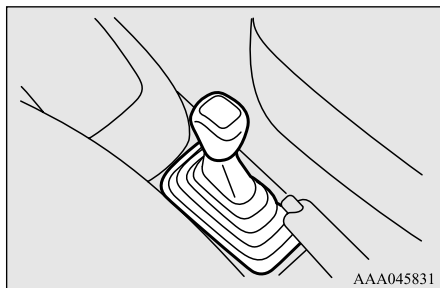
### ⚠ 注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを止め、キーを抜いてください。エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーが**P**以外に入っていた場合、クリーブ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。

## パートタイム4WD

J00707500052

トランスファーシフトレバーの操作により、走行状況に合わせて駆動方式を切り換えることができます。



駆動方式	働き
2H (2WD)	一般道路や高速道路を走行するときに使用します。
4H (ハイレンジ 4WD)	積雪路、砂地、悪路を通常のスピードで走行するときに使用します。
4L (ローレンジ 4WD)	急登坂、急降坂、砂地、ぬかるみなどの悪路を走行するとき(特に大きな駆動力が必要な低速走行)に使用します。

### ⚠ 注意

- 乾いた舗装道路は「2H」で走行してください。特に乾いた高速道路は絶対に「4H」または「4L」で走行しないでください。乾いた舗装道路を「4H」または「4L」で走行すると燃料の消費量が多くなったり、騒音、タイヤの早期摩耗を発生することがあります。また、駆動系部品に無理がかかり、オイル漏れや焼き付きなど重大な故障の原因となるおそれがあります。必ず「2H」で走行してください。

### ⚠ 注意

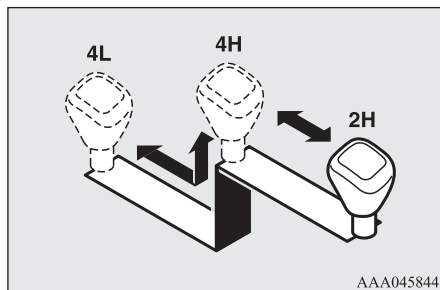
- オートマチック車は「4L」では約50km/hを超えないように走行してください。

## トランスファーシフトレバー

J00720700019

路面の状態に応じてトランスファーシフトレバーを各位置に切り換えます。

### ◆ トランスファーシフトレバーの操作



2H↔4H

**マニュアル車**

走行中でも停車中でも操作できます。  
走行中操作するときは車を直進状態にして、クラッチペダルをいっぱい踏み込んでから操作します。

**オートマチック車**

走行中でも停車中でも操作できます。  
停車中はセレクトレバーをN(ニュートラル)にしてから操作します。  
走行中は車を直進状態にして、アクセルペダルをゆるめてから操作します。

**⚠注意**

- 走行中の「2H」↔「4H」の切り換えは時速80km/h以下で行ってください。
- 雪道等で後輪を空転させたまま、トランスファーシフトレバーを操作しないでください。

**📖アドバイス**

- 低温時に走り始めてからしばらくの間は、「2H」から「4H」へ切り換えようとするとトランスファーシフトレバーの操作が重くなったり、ギヤ鳴りが発生することがあります。このような場合は停車して切り換えてください。
- 「4H」でハンドルを切ったまま「2H」に切り換えるとトランスファーシフトレバーの操作が重くなることがありますが、故障ではありません。

4H→4L

**マニュアル車**

停車してクラッチペダルをいっぱい踏み、トランスファーシフトレバーを押し下げながら操作します。

**オートマチック車**

停車してセレクトレバーをN(ニュートラル)に入れ、トランスファーシフトレバーを押し下げながら操作します。

**📖アドバイス**

- N(ニュートラル)以外で操作するとギヤ鳴りが発生して切り換わらない場合があります。

4L→4H

**マニュアル車**

停車してクラッチペダルをいっぱい踏み、トランスファーシフトレバーを操作します。

**オートマチック車**

停車してセレクトレバーをN(ニュートラル)に入れ、トランスファーシフトレバーを操作します。

**⚠注意**

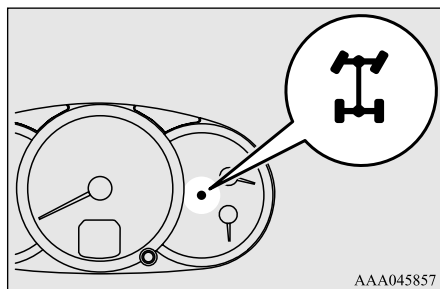
- 走行中に「4H」↔「4L」の切り換えを行わないでください。

**📖アドバイス**

- N(ニュートラル)以外で操作するとギヤ鳴りが発生して切り換わらない場合があります。

## 4WD 作動表示灯

J00707400127



AAA045857

エンジンスイッチがON のとき、メーター内の 4WD 作動表示灯にトランスファーの切り換え状態を表示します。

4 輪駆動 (4H または 4L) のときは点灯し、後輪駆動 (2H) のときは消灯します。

### アドバイス

- トランスファーシフトレバーを「4H」にしても 4WD 作動表示灯が点灯しないときは車を直進状態にしてしばらく徐行し、4WD 作動表示灯が点灯したことを確認してから通常走行してください。
- トランスファーシフトレバーを「4H」から「2H」に切り換えても 4WD 作動表示灯が消灯しないときは周囲の安全を確認して加速、減速または後退を行い、4WD 作動表示灯が消灯したことを確認してから走行してください。  
加速、減速または後退を行っても 4WD 作動表示灯が点灯したままのときは、トランスファーシフトレバーを「2H」にしたまま、できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。

## 4WD 車の上手な運転

J00707400178

4WD 車といってもどこでも走れるわけではありません。無理な運転はしないでください。路面や傾斜の状態に十分注意して安全運転を心がけてください。

### アドバイス

- 運転姿勢はやや起こしきみにして、ハンドル操作やペダル操作がしやすい位置にシートを調整し、シートベルトは必ず着用してください。
- オフロードを走行したあとは必ず車体各部を点検し、きれいな水で念入りに洗車してください。  
→「オフロードを走行した後は」P. 7-23

## 積雪路や凍結路を走行するとき

積雪や凍結 (アイスバーン) の状態に応じてトランスファーシフトレバーを「4H」または「4L」に切り換えて走行します。

### 注意

- 運転中の急加速、急ブレーキ、急なハンドル操作はスリップや横すべりが起こりやすいので行わないでください。

### アドバイス

- タイヤチェーンや冬用タイヤを使用することをおすすめします。
- 車間距離を十分に取り、急ブレーキは絶対に避けて、エンジンブレーキを上手に使ってください。

## 砂地やぬかるみを走行するとき

砂地、ぬかるみの状態を確認してトランスファーシフトレバーを「4H」または「4L」に入れ、アクセルペダルを徐々に踏み込んで発進します。アクセルはできるだけ一定にして、低速で走行します。

### ⚠️ 注意

- 砂地では無理な走行をしないでください。一般道路にくらべてエンジンや駆動系部品への負担が大きくなり、思いがけない故障の原因になります。
- 走行中、水温計の指針が「H」表示部に近づいたときや、オートマチック車はメーター内の A/T 油温警告灯が点灯したときは、ただちに安全な場所に停車して処置してください。  
→「オーバーヒートしたときは!」 P.13-22  
→「A/T油温警告灯」P.6-10

### 📖 アドバイス

- ぬかるみでは、路面の状況がわかりにくいので、深みにはまり込むことがあります。できれば車から降りて路面の状況を確認してから運転してください。
- 特にひどいぬかるみを走行する必要があるときは、タイヤチェーンをかける（後輪）と有効です。
- 運転中の急加速、急ブレーキ、急なハンドル操作はスタック（タイヤが砂や泥に埋もれて車が動かなくなる）しやすくなりますので、極力避けてください。
- 車がスタックしたときは、前進と後退を繰り返して、車の反動を利用して脱出します。タイヤが空回りして車が動かないときは、アクセルペダルを軽く踏み、パーキングブレーキを軽く引いたまま脱出します。
- 海辺を走行したときは、海水の塩分により、車にさびが発生しやすくなりますので早めに洗車してください。

## 急な坂道を登るときは

トランスファーシフトレバーを「4L」に入れ、エンジンの出力を有効に使います。

### ⚠️ 注意

- 斜めに蛇行しながら登坂することは避け、できるだけまっすぐに登坂してください。

### 📖 アドバイス

- 石、砂および凸凹の少ないところを選び、登り始めと終わりはなだらかな傾斜を選んでください。
- 登る前には、車がその斜面を登れるかどうか、一度自分の足で頂上まで歩いて確認してください。

## 急な坂道を降りるときは

トランスファーシフトレバーを「4L」に入れ、タイヤがロックないようにエンジンブレーキを使いゆっくり降ります。

### ⚠️ 注意

- 斜めに蛇行しながら降りることは避け、できるだけまっすぐに降りてください。

### 📖 アドバイス

- 坂を降りているとき、前方に障害を見つけてあわててブレーキをかけると、車のコントロールを失うことがあります。できるだけ降りる前に歩いて斜面の状態を確認してください。
- 坂を降りているときに、途中で変速することを避けて、あらかじめ坂の状態に応じた変速ギヤを選んでおくことが必要です。

## 渡河など水中走行するときは

4WD車といっても水に対して万全ではありません。電気系統が浸水すれば走行不能となります。水中走行はできるだけ避けてください。

やむをえず水中走行しなければならないときは必ずつぎのことをお守りください。

- 水中走行する前に、あらかじめ川の深さや地形を確認してください。
- 海水など塩分を含んだ水には入らないでください。
- トランスファーシフトレバーを「4L」に入れてください。
- できるだけ浅い場所を選び5km/hぐらいで波が立たないようにゆっくり走行してください。
- 河川に対し、直角または下流方向へ横断し、途中変速やクラッチ操作は避けて一気に渡ってください。

### ⚠ 注意

- 水中走行は緊急を要する場合に一時的に行かない、長時間の水中走行は避けてください。
- 水中走行後はブレーキの効きが悪くなります。前後の車に十分注意して低速で走行しながらブレーキペダルを軽く数回踏んで効きを回復してください。

### 📖 アドバイス

- ひんぱんに水中走行することは車の寿命に大きく影響します。水中走行後は日産販売会社にご相談の上、適切な処置および点検を行ってください。

## オフロードを走行した後は

J00706500055

- 路面の突起物（石など）により損傷した箇所がないか点検してください。
- きれいな水で念入りに洗車してください。特に砂浜や凍結防止剤の散布された道路を走行したときは塩分で車にさびが発生しやすくなります。

### ⚠ 注意

- 洗車後は、低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキを乾かしてください。ブレーキのきき具合が悪いときは、ただちに日産販売会社で点検を受けてください

- ラジエーターの目詰まりとなる虫や枯れ草などを取り除いてください。
- 渡河など水中走行したあとは、必ず日産販売会社でつぎの項目を点検し、必要な処置を行ってください。
  - ・ブレーキの効き具合を点検します。必要な場合は分解整備を行ってください。
  - ・エンジン、トランスミッション、トランスファー、ディファレンシャルの各オイルまたはグリース量と濁りを点検します。白く濁っている場合は水が混入していますので、オイルまたはグリースを交換してください。
  - ・ホイールベアリング部のグリースを交換してください。
  - ・室内への水の浸入がないかを点検します。水が浸入している場合はカーペットなどを乾燥させてください。
  - ・ヘッドライト内への水の浸入がないかを点検します。水が浸入している場合は水抜きを行ってください。

## 4WD車取り扱い上の注意

J00706600724

### 乾燥した舗装道路を走行するときは

#### ⚠ 注意

- 乾いた舗装道路は「2H」で走行してください。特に乾いた高速道路は絶対に「4H」または「4L」で走行しないでください。乾いた舗装道路を「4H」または「4L」で走行すると燃料の消費量が多くなったり、騒音、タイヤの早期摩耗を発生することがあります。また、駆動系部品に無理がかかり、オイル漏れや焼き付きなど重大な故障の原因となるおそれがあります。必ず「2H」で走行してください。

### 急なカーブを回るときは

4輪駆動時に、急なカーブを低速で旋回した場合、ブレーキをかけた状態と同じような現象が発生することがあります。これはタイトコーナーブレーキング現象と呼ばれているもので、前、後輪のタイヤの軌跡（回転差）が違うために生じる4輪駆動車特有の現象です。

このような現象が発生したときには、ハンドルを直進状態に戻すか後輪駆動に切り換えることによって解消することができます。

#### ⚠ 注意

- 急旋回したときは、タイトコーナーブレーキング現象を起こし、運転しにくくなりますので、急な旋回は避けてください。

## タイヤ、ホイールについて

4WD車は4輪に駆動力がかかるため、タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤの状態には細心の注意を払ってください。

- 4輪とも指定のタイヤ、ホイールを装着してください。  
→「タイヤ、ホイールのサイズ」P. 14-8
- タイヤ、ホイールを交換するときは4輪とも交換してください。
- タイヤのローテーションは5,000kmごとに行ってください。  
→「タイヤローテーション」P. 11-3
- タイヤの空気圧は定期的に点検してください。  
→「タイヤの空気圧」P. 14-9

#### ⚠ 注意

- 同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ、種類、銘柄および摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると、駆動系部品に無理がかかり、オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

## けん引について

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。

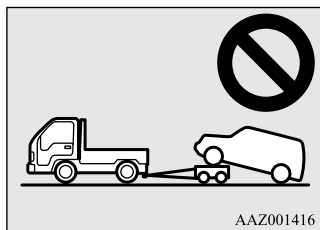
ただし、つぎの場合は日産販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し、オイルなどが漏れている。

### ⚠ 注意

- 必ず2WD（後輪駆動）に切り換えてけん引してください。また、4WD（4輪駆動）のまま前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はしないでください。駆動系部品が損傷したり、車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。

→ 「けん引」 P. 13-24



- 2WD（後輪駆動）に切り換わらないときや、駆動系部品が故障したと思われるとき（車輪が動かない、異音がするなど）は、必ず4輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください。

### 📖 アドバイス

- レッカー車による搬送は、別冊の「メンテナンスノート」を見て日産販売会社へ依頼してください。

## ジャッキアップするときは

### ⚠ 注意

- ジャッキアップ中はエンジンをかけたり、ジャッキアップした車輪を回転させたりしないでください。接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## マニュアル車はクラッチペダルの操作はゆっくりと確実に

エンジンの回転が高いときクラッチを急に接続したり、中途半端な踏み方をすると、けん引力が大きいのでクラッチやトランスミッションなどを損傷させるおそれがあります。

ペダルの操作はゆっくりと確実に行ってください。

## アンチロックブレーキシステム (ABS)

J00703000684

アンチロックブレーキシステム (ABS) とは、急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し、制動力を維持し、かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

### ⚠ 注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのものです。必ずしも制動距離が短くなるとは限りません。ABS を過信せず、十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足まわりに付いた雪や泥を取り除いてください。足まわりを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 4輪とも同一サイズ、同一種類の指定タイヤを装着してください。サイズや、種類の異なるタイヤを混用すると、ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

### 📖 アドバイス

- つぎのような場合は、ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなる場合がありますので、速度はひかえめにし、車間距離を十分とって運転してください。
  - ・砂利道や深い新雪路を走行するとき
  - ・タイヤチェーンを装着しているとき
  - ・道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
  - ・凸凹道などの悪路を走行するとき
- マンホール、工事用の鉄板、白線の上、段差を乗り越えるときなど、車輪が滑りやすい状況では、車輪のロックを防止するため急制動以外にもABSが作動することがあります。
- ABSが作動すると車体、ハンドル、ブレーキペダルに振動を感じたり、作動音が聞こえます。また、ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じる場合があります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 走行開始後、エンジンルーム内より作動音がしたり、ブレーキペダルにショックを感じる場合がありますが、これはABS装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
- ABSは、発進後車速が約10km/hになるまで作動しません。また、車速が約5km/hまで下がると作動を停止します。

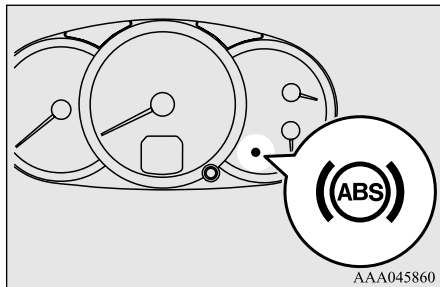
## ABS警告灯

J00704500686

正常なときは、エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

### ⚠ 注意

- 点灯したままのときまたは点灯しないときは装置の故障が考えられますので日産販売会社で点検を受けてください。



## 走行中に警告灯が点灯したときは

J00704600052

- 安全な場所に車を止めてから、エンジンを停止し、再度エンジンをかけます。その後しばらく走行して点灯しなければ異常ありません。しばらく走行しても点灯したままのときは日産販売会社で点検を受けてください。この場合、ABSは作動せず、普通のブレーキとして作動します。
- バッテリーが電圧不足のときにエンジンをかけると、警告灯が点灯することがありますがABSの故障ではありません。このようなときは、しばらくアイドリング回転でバッテリーを充電してください。充電しても点灯したままのときや、たびたび点灯するときは日産販売会社で点検を受けてください。

